

2019 年度 第 3 回 9 月 難関大記述模試地理 B 採点基準

1 単答記述問題

- ① 誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。
- ② 漢字で書くべき用語（例：扇状地）をひらがなで書いてある場合は 0 点。
- ③ 日本の地名（例：茨城県）については漢字で正確に書かれていなければ 0 点。
- ④ 中国・韓国の地名（例：ペキン（北京））については，漢字・カタカナのいずれかで正しく書かれていれば正解とする。
- ⑤ その他の地名や地理用語について，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスターンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては正解と認める。

2 論述問題

以下の設問別加点基準で加点（その他各問題の主旨に適した解答には，適宜加点。ただし，満点は越えない。）



以下の共通減点要素で減点

共通減点要素

- ① 加点要素に関わる誤字脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 字数オーバーは 0 点
- ③ 明らかに文章の構成が誤っている場合，論理が合わない場合などは 1 点減点。
- ④ 指定語句に下線をつける問題で，下線が引き忘れてある場合は 1 問につき 1 点減点。

（*減点しなくていい要素，その他の注意）

- ① 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ② 文章が未完のものは減点しない。
- ③ 以下の基準における加点項目は，内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

3 採点記号

1	<□□□□>	加点ポイント
2	□□□□x	事実に誤認あり
3	□□□□?	文意不明
4	□□✓□□	誤字あり／脱字あり

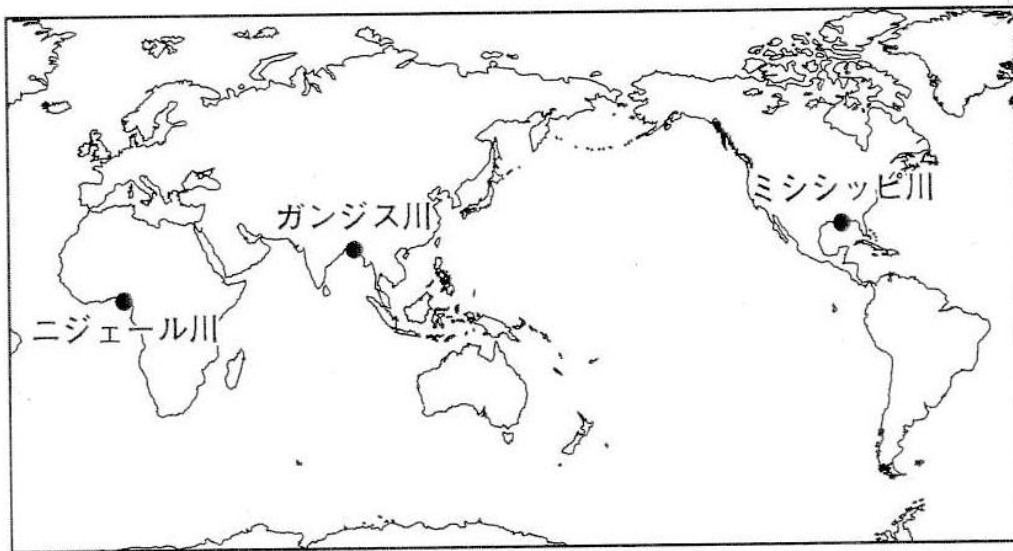
4 設問別加点要素

- 1) _____部分は必須キーワードであり、この表現がなければ加点しない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。

1

問1 各1点×3

- ※ ●が河口部（沿岸部）に無いものは加点しない。
- ※ 河川名が付記されていないものは加点しない。



問2(1) 各2点

アーエチオピア高原／エチオピア高地／アビシニア高原 イーイラン高原

問2(2) 各1点 アー① イー③

問2(3) 各1点 アー② イー①

問3 A 2点

熱帯雨林が広がり、赤色でやせたラトソルが分布する。

【加点ポイント】

- ① (植生として) 熱帯雨林／常緑広葉樹林 →1点
- ② (土壌として) ラトソル／ラテライト →1点

問3 B 2点

針葉樹林の純林（タイガ）が広がり、灰白色でやせたポドゾルが分布する。

【加点ポイント】

- ① (植生として) 針葉樹林／タイガ →1点
- ② (土壌として) ポドゾル／ポドソル／ポトゾル／ポツソル／ポドゾル性土／ポドゾル土 →1点

問4 各2点 W : ① X : ③

問5 2点 ④

問6 4点 ★ [指定語句] 侵入 通気性 排熱 不等沈下 (下線の付け忘れは -1点)

高緯度で寒冷な α では建物の排熱が直接永久凍土に伝わって融解し、建物が不等沈下するのを防ぐため、低緯度で多雨の β では通気性を高めて地面からの湿気を避け、野獣・害虫の侵入を防ぐため。

【加点ポイント】

- ① (α について) 排熱により 永久凍土／凍土 が融けるのを防ぐ →1点 (溶ける／解ける○)
- ② (①により) 建物の不等沈下を防ぐ →1点
- ③ (β について) 通気性を高める／通気性を確保する →1点
- ④ (③により) 野獣／害虫 (「ねずみ」などの具体例でも可) の侵入を防ぐ →1点

2

問1 2点 E

問2① 2点 リーマンショック／リーマン・ショック／2008年金融危機

問2② 3点

福島第一原子力発電所の事故 (の後)

【加点ポイント】

原子力発電所 (原発) の 事故／停止 →3点

(※「東日本大震災」「地震」のみで原子力発電所について触れていないもの →1点)

(※「原発が停止した」など、「の後」に続かない文は -1点)

問2③ 2点

シェールオイルとシェールガスが増産した (ことで、)

(別解) オイルシェール由来の化石燃料開発が進んだ (ことで、)

【加点ポイント】

・シェールオイル (シェールガス) が増産した／の開発が進んだ／の採算がとれるようになった →2点

・オイルシェール (油母頁岩) から の燃料開発が進んだ／石油を採掘するようになった →2点

(※「シェールオイルの増産」など、「ことで、」に続かない文は -1点)

問3 各2点 ④ : E P A ⑤ : セーフガード ⑥ : フェアトレード

問4 各2点 i : H ii : R

問5 各2点 ⑦ : 垂直分業／垂直貿易 ⑧ : 輸入代替型 (※「輸入代替型工業」は△1点)

問6 2点 X

3

問1 3点 日本アルプス (※「飛騨山脈」「木曾山脈」「赤石山脈」「山脈」 →△1点)

問2 4点

文化的中心地で生じた新語が周辺に向かって順次伝播したから。

【加点ポイント】

①新語は文化的中心地(京都付近)で生じる

／言葉(呼び名/名称)は文化的中心地(京都付近)で変化する →2点

②(①が)周辺に向かって順次伝播した/人間の移動により遠方に伝わる

／口伝えで広まるのでタイムラグが生じる/中心地から遠いほど古い言葉が残る →2点

問3 6点 ★ [指定語句] 積雪 家畜小屋 (下線の付け忘れは -1点)

冬季の積雪・厳寒によって戸外での農作業や、家畜小屋で家畜を飼養する作業が困難になることを避けるため。

【加点ポイント】

①(気候の特徴として)積雪が多い →2点

②(広い土間の理由として)冬季は戸外で農作業ができない/冬季は家の中で仕事をする →2点

③(母屋と連結した家畜小屋の理由として)冬季でも家畜小屋で家畜を飼養できる

／積雪があっても家畜小屋に行ける →2点

問4 各2点 カ: ヒンドゥー教/ヒンドゥ教/ヒンズー教/ヒンヅー教 キ: ユダヤ教

問5 民族名 3点 マジャール人

問5 国 2点 ア

問6 3点 イ

4

- 問1 2点 ウ
問2 2点 ⑤
問3 2点 イ
問4 2点 ベルギー
問5 2点 エ
問6(1) 各2点

A：航空機 B：マーストリヒト（「マーストリヒト条約」→△1点）
C：ユーロ D：イギリス

問6(2) 5点

農産物の生産過剰や補助金による財政負担が大きくなり、域外からの輸入量制限を緩和するようにした。
（別解）農産物の生産過剰や輸出補助金による財政負担が大きくなり、農村の基盤整備に多く補助金を出すようにした。

【加点ポイント】

①（課題として）

- ・農産物の過剰生産
- ・補助金による財政負担の増加／価格を安定させるための費用が増加した
- ・域外諸国との貿易摩擦
- ・EUの新規加盟国への補助金増加が財政を圧迫
- ・EUの新規加盟国がEUの標準生産方式へ変更する負担が増加

→1つ1点 2点まで

②（政策の転換について）

- ・域外からの輸入量制限を緩和した
- ・余剰物への輸出補助金を廃止した
- ・農産物の支持価格（統一価格）を引き下げた
- ・農村の基盤整備に多く補助金を出すようにした
- ・基準を満たす農家（小規模農家／条件不利地の農家／生産性の低い農家など）への個別の補助金にした
／直接所得保障が主体となった／環境保全などを目的とした環境支払制度を導入した
- ・標準生産方式に適さない地域では、伝統や地域性を尊重する農業政策となった
／加盟国や地域レベルの裁量を認める農業政策となった

→いずれかで3点

問6(3) 2点 イ